(有)ファクトリーゼロ

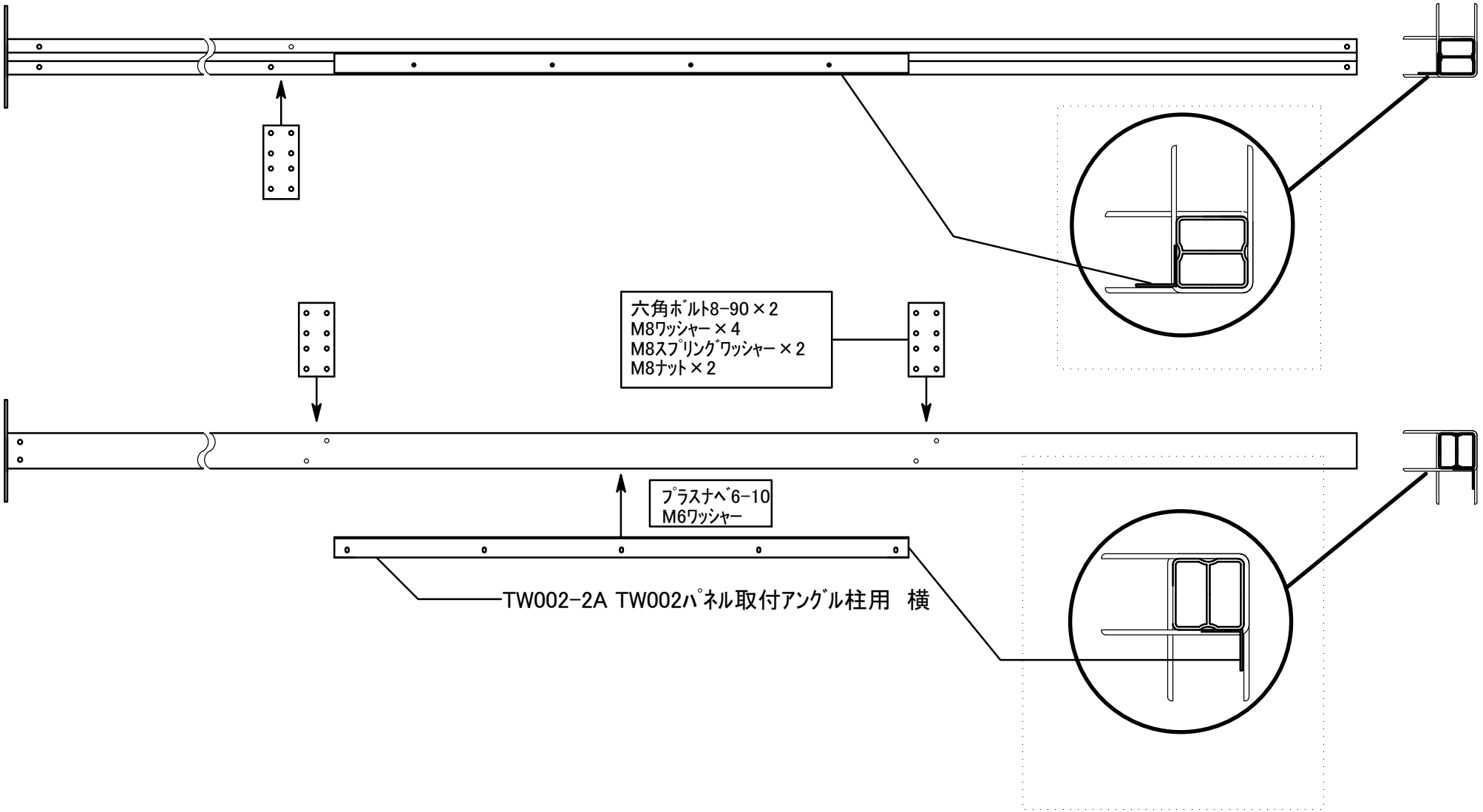
〒243-0417　神奈川県海老名市本郷 348-13
TEL：046-238-9411　FAX：046-238-9422　E-mail：info@factory-zero.co.jp
URL：http://www.factory-zero.co.jp

TW002T　監視タワー

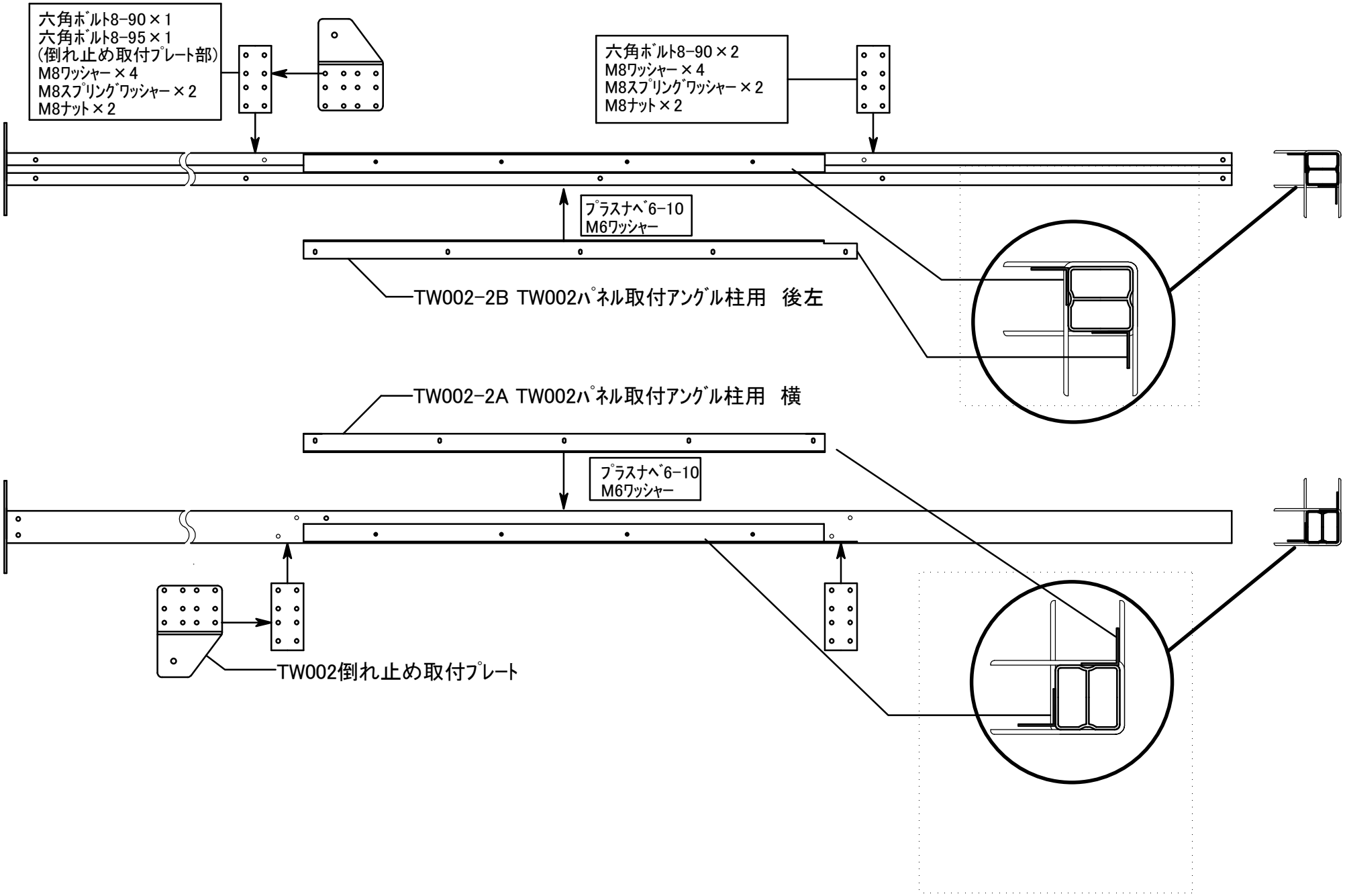
取扱説明書

※この取扱説明書は交換パーツ表等添付していますので大切に保管してください。
※第三者へ監視タワーの転売または譲る際は必ずこの取扱説明書、
注意事項書等も一緒に添付してください。

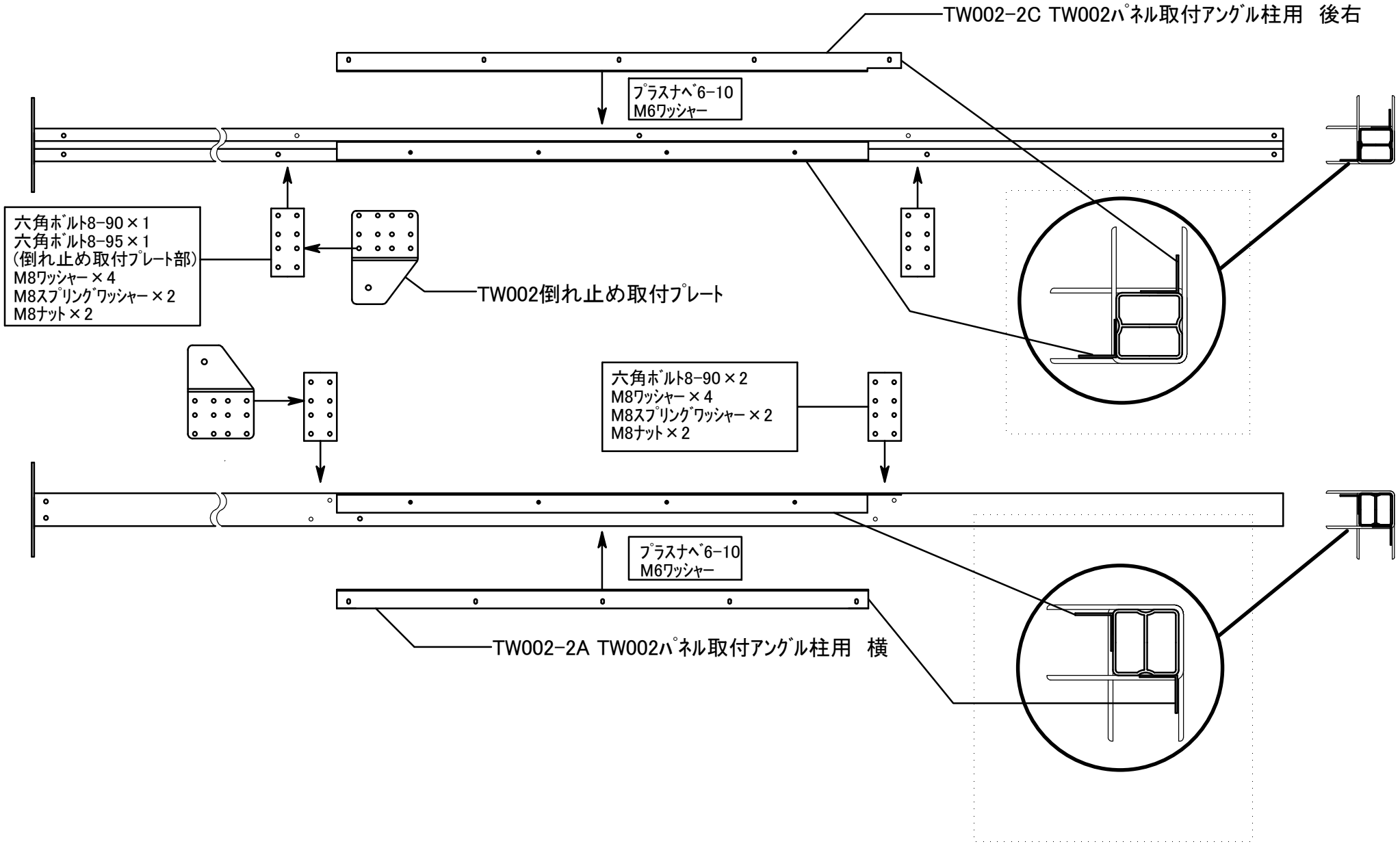
TW002-1A　TW002柱　左前方



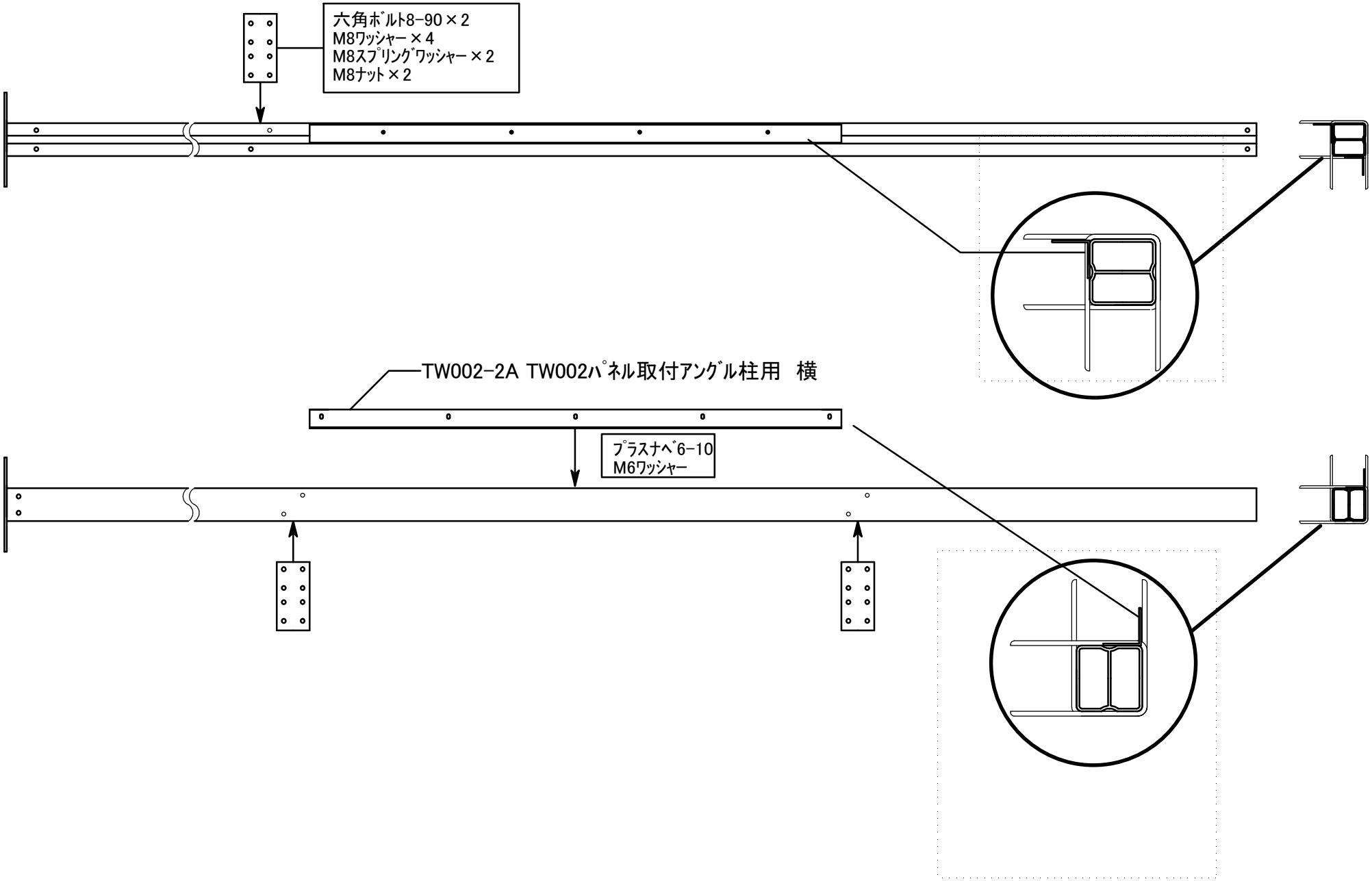
TW002-1B　TW002柱　左後方



TW002-1C　TW002柱　右後方



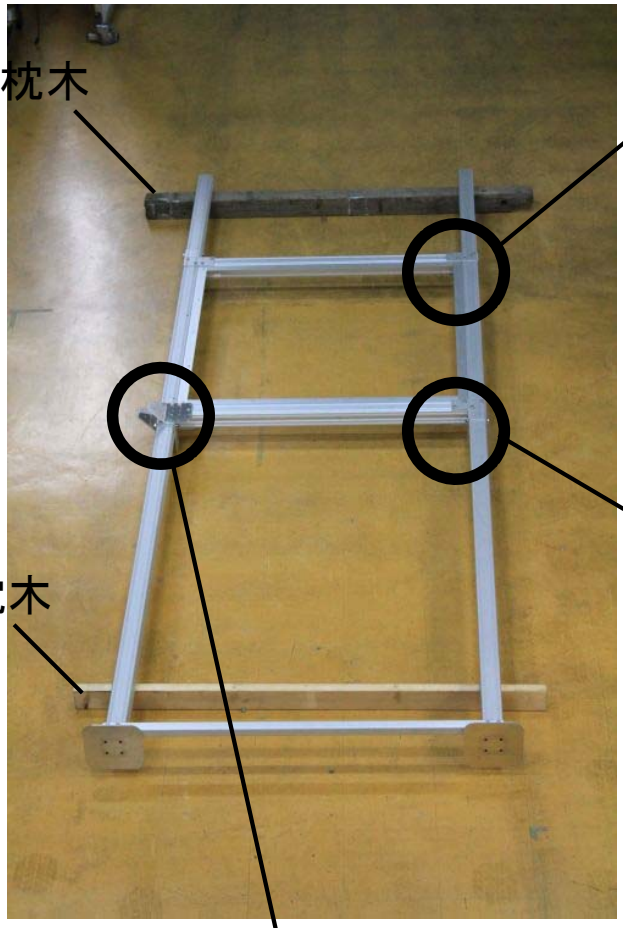
TW002-1D　TW002柱　右前方

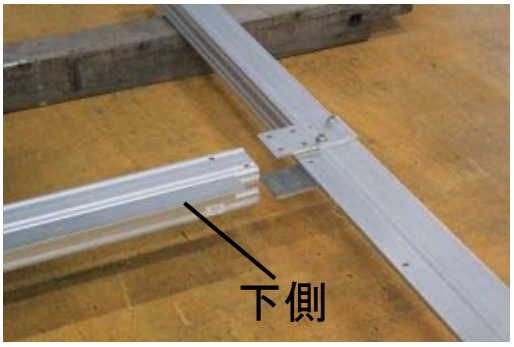


左右のフレームの組立

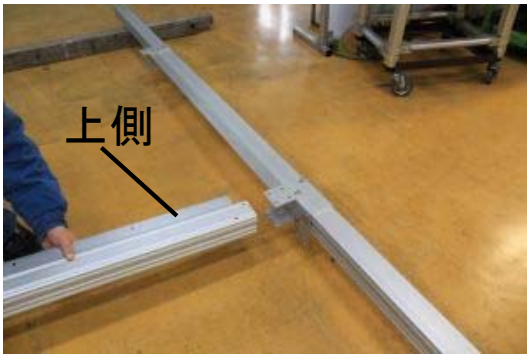
TW002-1B（左後方）＋TW002-1A（左前方）
TW002-1C（右後方）＋TW002-1D（右前方）

＜組立後写真＞
上と下に枕木を入れると作業がしやすいです。





支柱に連結フレームをボルトM-8-90、ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットで取付ます。
注意！アングルの向きは下側で！



支柱に連結フレームをボルトM-8-90、ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットで取付ます。
注意！アングルの向きは上側で！

タワーの後側となる写真の部分に後方転倒防止フレーム取付用の折り曲げブラケットを取り付けます。
ボルトM8-95、ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットにて1枚/3ケ所の穴で取付ます。
注意！折り曲げブラケットには左右の向きがあります！

反対側の支柱を取付ます

柱開き止めフレームを柱根元の上側に位置しボルトM8-120、ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットで固定します。

四角枠の対角の長さを均一になっているか確認してください。

左右フレームを立て、四角枠を作る。

左右フレームを立て、間に連結フレームを取付ます。

支柱に連結フレームをボルトM−8−90、ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットで取付ます。

柱開き止めフレーム組立完成写真

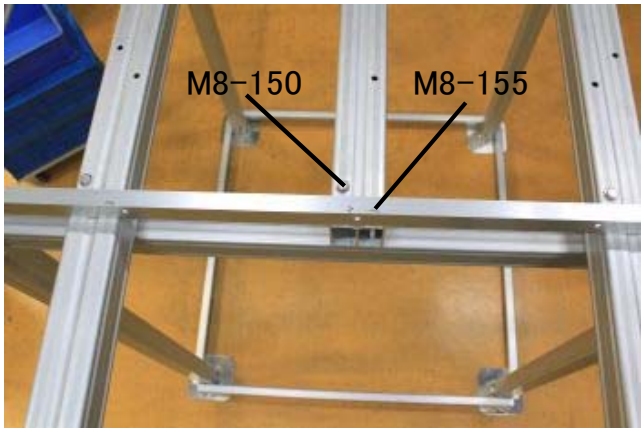
ボルトM8−120、ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットで固定します。

ステージフレームの組立

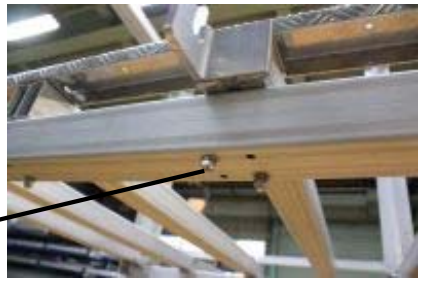
①ステージ用フレーム3本を配置します。
真ん中は短いフレーム、両サイドは前後の向きに注意してください。
黒いキャップ側が後方（折り曲げフラケット側）です。

②こちらが前方です。
両サイドのフレームには左右があります。
写真のように配置してボルトM8-150、ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットで固定します。

③足場ベース（縞模様板）をステージフレームにかぶせ、ステージフレームと一緒にボルトM8-85、ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットで固定します。



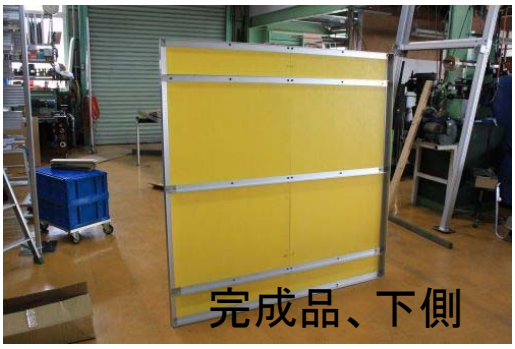
④パネル取付アングル後用ごと固定します。
アングルの部分はボルトM8-155、ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットで
アングルが無い部分はM8-150、ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットで固定



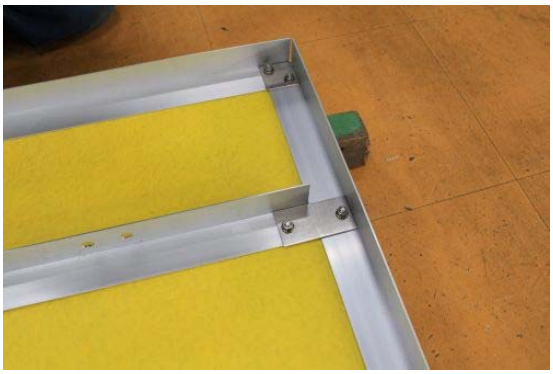
タイヤと屋根の取付

丸パイプ車軸をフレームに通して、その車軸にプラスチックカラーを入れて、タイヤを入れ、最後にDリングを差します。

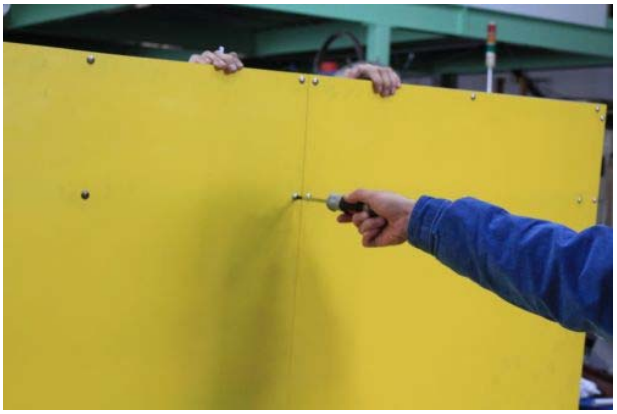
タイヤを接地させてナナメに倒した状態で後方の連結フレームを取付ます。
注意！アングルは下側の向きで！



①写真のように2枚の屋根複合板を置いて、その上に屋根アングルを配置します。
注意！四角辺のアングルの配置は屋根複合板の穴数とアングルの穴数を合わせて位置してください！

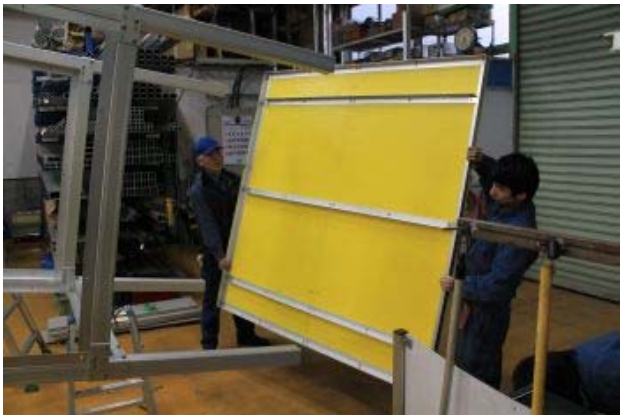


②四角コーナー部はつなぎプレートA（正方形）にて、内側部分はつなぎプレートB（長方形）にてボルト トラスM6−15、フランジ座付きナットにて屋根複合板とアングルとプレートを共締めします。

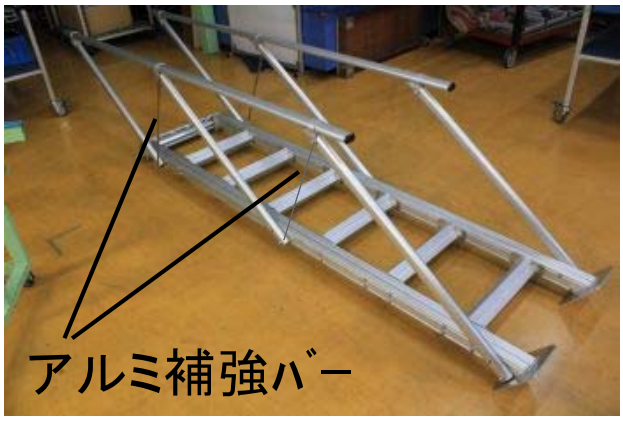


③その他の箇所は同じボルト トラスM6−15、フランジ座付きナットにて締めます。

屋根の取付＆ハシゴの組立

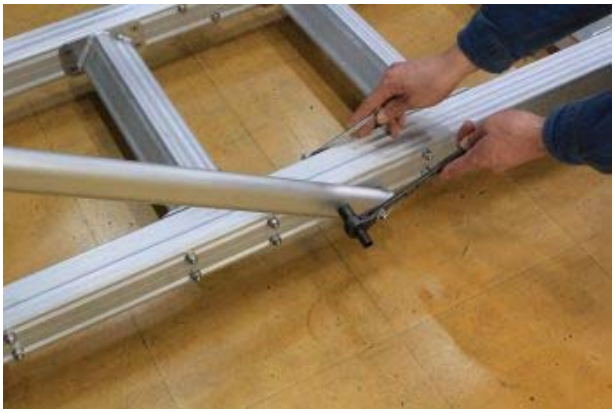


組み立てた屋根を各4本の支柱にM8-85、ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットで固定します。

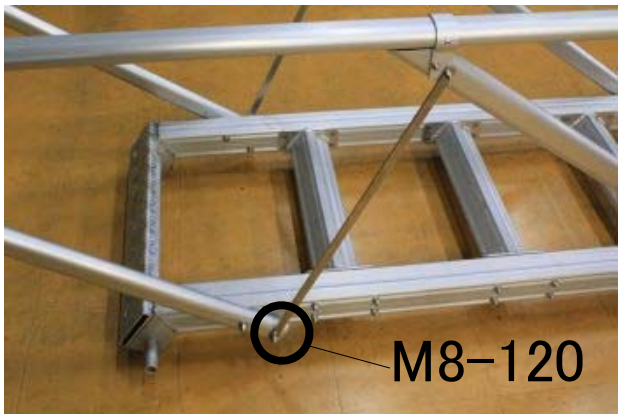


ハシゴ完成写真

ハシゴに手摺を取付ます。
上側はすべてM6-50、スプリングワッシャー、袋ナットにて固定します。

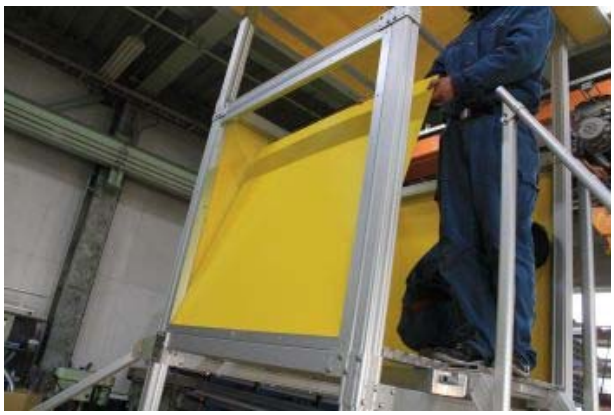


下側はアルミ補強バーの無い部分はM8-115、ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットにて固定します。



下側のアルミ補強バーの部分はM8-120、ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットにて固定します。

サイドパネル＆床の取付



サイドパネルを本体フレームにトラスM5-15、25φワッシャー、ナットにて固定します。
注意！ワッシャーは必ずナット側に付けてください。
注意！この作業は二人と脚立が必要です。

奥から写真のように床材の端を重ねて設置して +ナベM6-85、ﾜｯｼｬｰ、SUSφ25 ﾜｯｼｬｰ、ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾜｯｼｬｰ、袋ナットにて固定します。
最後に床の繋ぎ目カバーをかぶせます。

ハシゴの丸パイプ部分を本体のU字溝にひっかけます。

椅子の組立＆取付

取付完成写真

立上りフレームをボルトM6-85、ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットにて椅子天板に固定します。

足フレームをボルトM6-85、ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットにて立上りフレームに固定します。

上下ともボルトM8-120を内側から支柱まで差し込んでワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットで固定してください。

＜監視タワー　タイヤ使用方法＞

タイヤを使用して運搬

①

②

③

④

⑤

●ｽﾃｰｼﾞ部の車軸に車軸ｶﾗｰを入れてからGﾀｲﾔを差し込んでDﾘﾝｸﾞ（抜け止めﾋﾟﾝ）を差します。
●写真①のようにﾀｲﾔ部分のﾌﾚｰﾑを掴み②ようにゆっくりとﾀｲﾔ側に傾けていきます。
　この時、周囲の安全を確認してください。
注）写真③のように重心が後方へ移りますと急にﾀｲﾔ側へ重みがかかりますので、ﾀｲﾔ側の人たちはしっかりと支えてください。
●ﾀｲﾔが設置しましたら1輪車の要領で前後ﾊﾞﾗﾝｽをとりながら周囲の安全を確認しゆっくり運搬移動してください。
注）凹凸、段差等注意して運搬してください。
注）横に倒した状態で屋根を直に地面に着けますと屋根部GRPが破損しますのでご注意ください。

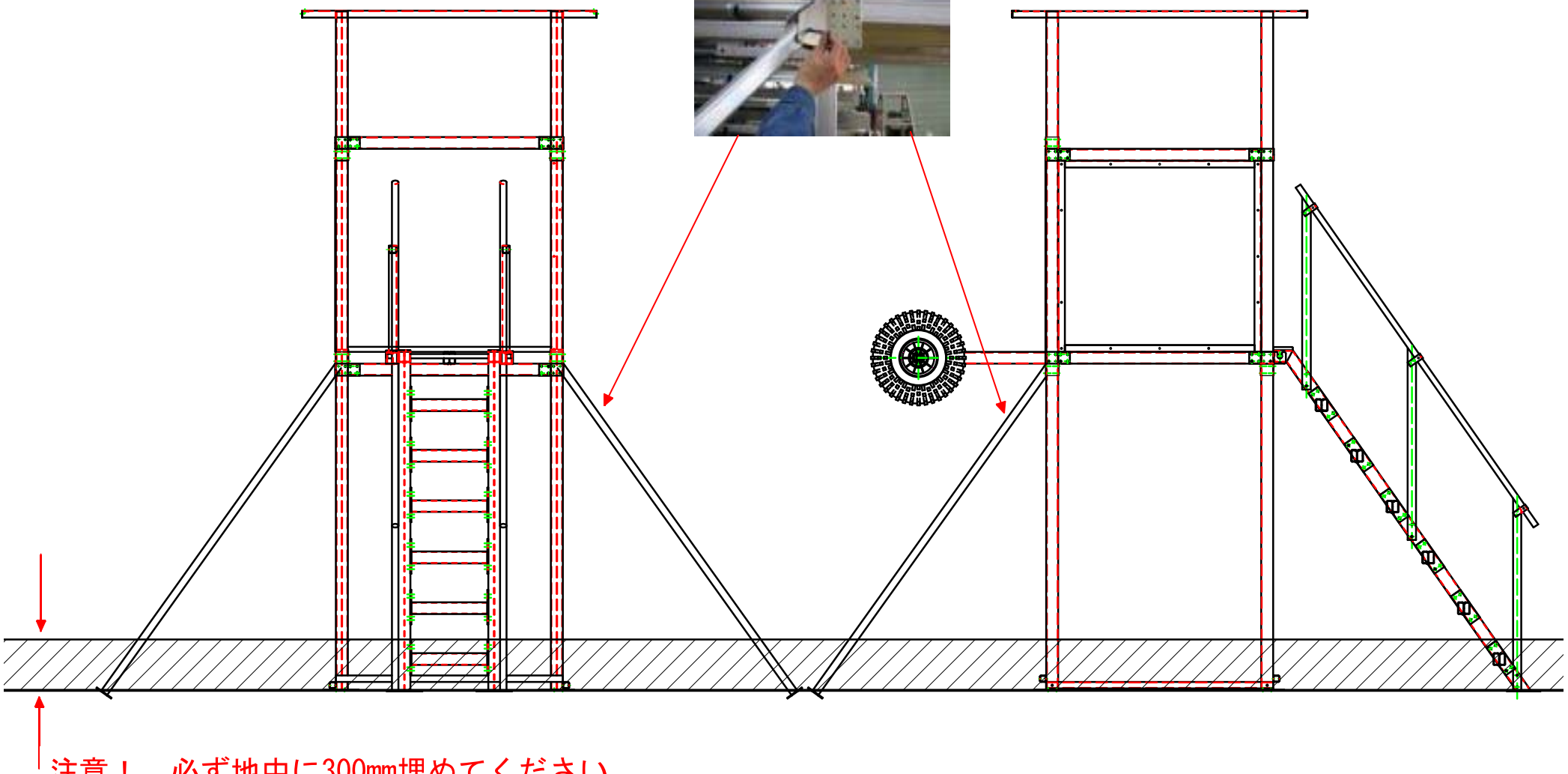
＜注意事項＞

●組立設置後は必ず柱フレームの地面側を約30cmは地中に埋めて固定してください。
（ブレスフレームが地中に埋まる状態）
　その他、土嚢(どのう)等で固定すればより安全で効果的です。
●風速12m/s以上、または転倒の恐れがある状況の場合は危険ですので速やかにタワーを倒し安全な場所へ移動してください。
　台風、低気圧、前線等の接近時は突風（瞬間最大風速）が吹く恐れがありますので速やかにタワーを倒し安全な場所へ移動してください。
　設置状況や風向き等で風速数値に対する実際の風力は異なりますので転倒の恐れがあると判断される状況では速やかにタワーを倒し安全な場所へ移動してください。
●夜間等、監視員がいない場合は無断でタワーに登る恐れがありますのでハシゴは外してください。
●運搬移動をしない時は安全のため必ず本体よりタイヤをはずしてください。ネオプレン保護カバーをしてください。
●ステージの定員は2名です。
●素足での上り下りは危険ですのでお止めください。
●ハシゴ等、水に濡れますと滑りやすくなりますのでご注意ください。
●木部老化によるササクレにご注意ください、その際は木部パーツ交換してください。
●使用前には必ずネジ、ボルト類の点検、締め直しをしてください、緩んだまま使用しますと本体等破損の原因または倒壊の原因等危険です。
●監視以外での目的には使用しないでください。
●誤った取付、使用による事故等の責任は応じかねますので、ご了承ください。
※第三者へ監視タワーの転売または譲る際は必ずこの取扱説明書、注意事項書等も一緒に添付してください。

TW001-78　ネオプレンカバーの使用箇所説明

ステージ部のTA30Gタイヤ（大）を取り外した際にはフレームが突き出ますので下写真のように必ずこのネオプレンカバーをフレームに差し込んでください。

注意！　必ず後方倒れ止めフレームを取付てください。



注意！　必ず地中に300mm埋めてください。

(有)ファクトリーゼロ　　TEL 046-238-9411　FAX　046-238-9422
www.factory-zero.co.jp　　info@factory-zero.co.jp

タイヤご使用上の注意

このたびは当社製品のお買い上げまことにありがとうございます。
当社エアータイヤにつきまして下記のことに注意してご使用下さい。

TA30F / TA30G / TA30J （F タイヤ、G タイヤ、J タイヤ）（ｼﾞｪｯﾄﾗﾝﾁｬｰ、ｼﾞｪｯﾄﾊﾞﾝｸ、L700 等に使用）

- ﾀｲﾔ空気圧は約 **0.8KG～1.0KG** 位にてお願い致します。特に夏場は直射日光にて内圧が高まります必ず **0.8KG 以下**でご使用下さい。
- 運搬の再はなるべく車外にて搬送してください。
- 車内に入れる場合は空気圧を必ず **0.5KG 以下**にして下さい。
- 車内等に入れる場合走行中や停車時必ず窓を開け換気し直射日光を避けて下さい。
- 冬になり気温が下がりますとﾀｲﾔの内圧が下がりﾁｭｰﾌﾞﾚｽﾀｲﾔの為空気が抜けてしまう場合が有りますので船を載せて保管される場合は時々ﾁｪｯｸをして下さい。
- ﾀｲﾔが潰れたまま長期放置しますとﾀｲﾔがﾋﾋﾞ割れし空気再注入不可能となってしまいます、長期保管の場合は台車の下にかいもの等を入れておくと良いでしょう。
- ｴｱｰ漏れでも早期に対処していただければ十分再生いたしますので時々点検していただけるようお願い申し上げます。

TA30A（A ﾀｲﾔ）（ｱﾙﾐﾗﾝﾁｬｰ、ﾄﾗﾝｻﾑﾄﾞｰﾘｰ等に使用）

- ﾀｲﾔ空気圧は約 0.8KG～1.0KG 位にてお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります、又冬場は逆に低温にて空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の再はなるべく車外にて搬送してください。
- 車内等に入れる場合走行中や停車時必ず窓を開け換気し直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はﾁｭｰﾌﾞの損傷やﾀｲﾔの劣化が早まりますので時々点検していただけるようお願い申し上げます。
- 交換用ﾀｲﾔ(外側) ﾁｭｰﾌﾞ、別途販売しています、適宜交換下さい。

TA30D（D ﾀｲﾔ）（ﾏﾙﾁﾄﾞｰﾘｰ、Z071 前輪、等に使用）

- ﾀｲﾔ空気圧は約 1.0KG～1.5KG 位にてお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります、又冬場は逆に低温にて空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の再はなるべく車外にて搬送してください。
- 車内等に入れる場合走行中や停車時必ず窓を開け換気し直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はﾁｭｰﾌﾞの損傷やﾀｲﾔの劣化が早まりますので時々点検していただけるようお願い申し上げます。

上記全てのﾀｲﾔについて
●車軸部にﾍﾞｱﾘﾝｸﾞが内蔵してあります、ﾍﾞｱﾘﾝｸﾞ部にはｸﾞﾘｽ等塗布しないようにして下さい、砂、埃、が付着し磨耗の原因となります、ﾍﾞｱﾘﾝｸﾞ分は良く水洗してください。

- ﾍﾞｱﾘﾝｸﾞ部も消耗、紛失した場合は交換用部品ございますので、補修をしてください。
- 空気を入れる場合ｶﾞｿﾘﾝｽﾀﾝﾄﾞ等においてある自動車、ﾊﾞｲｸ用、空気入れで入れられます
  一般用自転車用空気入れではﾊﾞﾙﾌﾞ形状が合いません。

安全なマリンライフをお楽しみ下さい　　(有)ファクトリーゼロ